

ティルトリクライニング車いす コンフォートアシスタ[®]

PRW-01

PRW-01-D(介助ブレーキ付き)

取扱説明書

保証書付き

このたびは、ハビナス「ティルトリクライニング車いす コンフォートアシスタ[®]」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用いただく前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いいただきますようお願い致します。

なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。



※写真はPRW-01

目

次

	ページ
1. おもな機能と特長	2
2. 各部の名称	3
3. 安全にお使いいただくために	4
4. 使用方法	6
5. 使用前の点検	12

	ページ
6. お手入れの方法	13
7. 保管方法	14
8. 仕様	14
9. アフターサービス	14
保証書	15

1. おもな機能と特長

多彩な姿勢保持機能を搭載したティルトリクライニング型車いすです。

◎姿勢保持

- ①体側サポート、骨盤サポートはダイヤル操作の角度調節により、体を横方向から支えます。
- ②バックサポート背折れ機能、ヘッドサポートはダイヤル操作の角度調整により円背などの姿勢保持に対応します。
- ③1本レバーの操作により、ティルトリクライニング角度を調整できます。
- ④アームサポートは2段階の高さ調整が可能です。
- ⑤移乗時はアームサポートをシート座面と同じ高さに下げる事ができます。
- ⑥フットサポートはダイヤル操作により足首回りの角度調整が可能です。
- ⑦レッグサポートは3段階での角度調整が可能です。

◎座り心地

クッション性の良いシートをスプリングで支える事で、良い座り心地を確保しています。

◎安全性

- ①手挟みを予防するサイドスカート付きです。
- ②駐車ブレーキペダルは、背もたれをリクライニングさせた状態でも操作がしやすい、足踏みペダル式です。

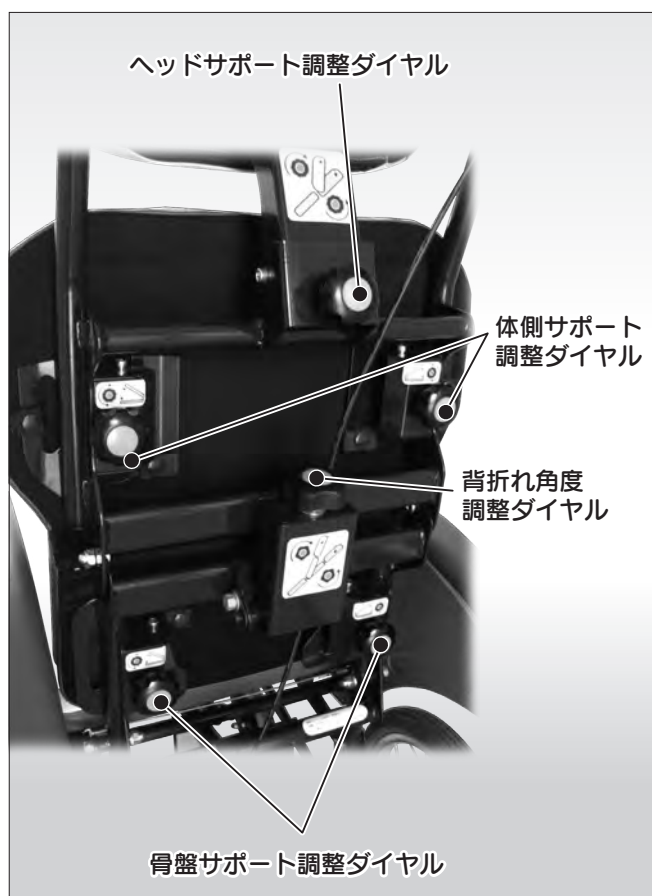
2. 各部の名称



※写真はPRW-01



※写真はPRW-01



※写真はPRW-01

3. 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取扱いをすると生じる事が想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。

警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。

注意

誤った取扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋・家財およびペットに関わる拡大損害を意味します。

禁止

製品使用上、禁止とする行為を示します。

指示

製品使用上、必ず行っているべき行為を示します。

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

操作・走行上の注意

警告

- 「コンフォートアシスタ」の取扱いは、介助者が必ず行ってください。
- ご使用中に、異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。
- 急な下り坂を走行する時は、後ろ向きにゆっくり降りてください。
- 本製品は1人用に設計されています。2人以上で使用しないでください。
※最大使用者体重（積載物含む）は75kgです。
- スピードを出さないでください。
- スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは、転倒の恐れがあり大変危険です。
- フットサポート及びレッグサポートの上には、絶対に乗らないでください。
また、座面以外に腰かけますと、バランスを崩し転倒する恐れがあります。
- 勝手に改造・分解しないでください。
特に車いすの下部にある黒いシリンダーは高圧ガスが封入されていますので、大変危険です。

注意

- 車いすを火気に近づけないでください。ヤケド・火災・故障の原因になります。
- 各種調整を行った時は、対象者の状態を確認し、無理な姿勢にならない様にしてください。

停止時の注意

警告

- 停止時は、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
駐車ブレーキを掛け忘れると、車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。
- 駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで確実に踏み込んでください。



リクライニング時の注意

⚠ 注意

- 手や腕がアームサポートより外に出たままリクライニングまたは、起こす操作をしないでください。
- 背もたれ、フレーム、アームサポートなどにご使用者の手や腕をひっかけたり、挟むなどしてケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

- リクライニングした状態で、バックサポート上に乗り込みますと、転倒する恐れがありますので、おやめください。
- リクライニングする際は、平坦な場所で、必ず駐車ブレーキをかけ、ご使用者へリクライニングする事を声掛けしてから操作を行ってください。

⚠ 注意

- 介助者は車いすに乗って介助しないでください。

移乗時の注意

⚠ 注意

- 移乗する時は、平坦な場所で、必ず駐車ブレーキを掛けてください。
- 移乗する時は、アームサポートに無理な体重や荷重がかからないように、アームサポートを下げてください。
- 通常使用する時は、必ずアームサポートがロックされる状態まで上げてください。



段差乗り越えの注意

⚠ 注意

- 無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。

足元のティップingleレバーに足を当て、前方に押し出ししながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



4. 使用方法

(1) 開梱

- ①製品本体、②取扱説明書、③バックサポート固定用シャフト:1本、④付属工具:1本、⑤座金付き六角ボルト:1本が入っている事を確認してください。(③④⑤はビニール袋入り)



(2) 最初の準備

1) バックサポートを固定する。

本製品はバックサポートを折りたたんだ状態で出荷しております。ご使用前にバックサポートを最後まで起こし、付属のシャフトを穴に通し確実に貫通し、締め切り固定します。この時、ワイヤーやシートなどをはさみ込まないように注意してください。

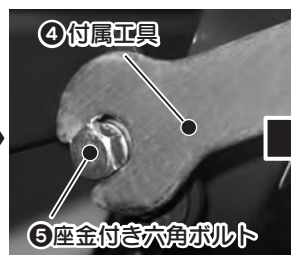
1-1) 右写真のようにバックサポートを起こします。

1-2) バックサポート中央部の、構成部品の穴が重なる事を確認した後、

③向かって左側からバックサポート固定用シャフトを通し、④付属工具を使用して、⑤座金付き六角ボルトにて締め切り固定してください。



バックサポート固定用シャフトを通す位置



1-3) 向かって右側からバックサポート固定用シャフトが右写真のように反対側まで貫通している事を確認してください。



2) マットを装着する。

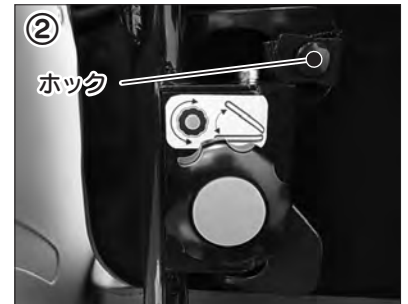
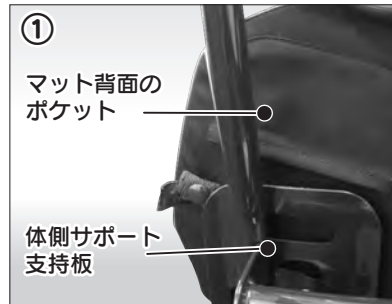
本製品はバックサポートとヘッドサポートのマットを取り外した状態で出荷しております。
ご使用の前に本体に装着してください。

2-1) バックサポートのマットを装着する。

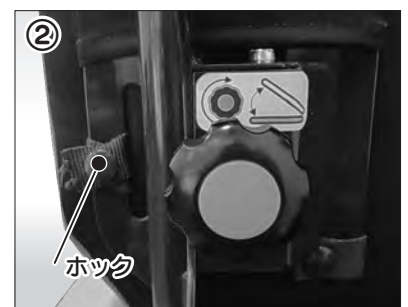
体側サポート部分及び骨盤サポート部分の支持板をマット背面のポケットに入れ、ホックにて固定する。
※各支持板とマットのポケットは左右2カ所ずつ、合計4カ所装着してください。



体側サポート部分の装着



骨盤サポート部分の装着

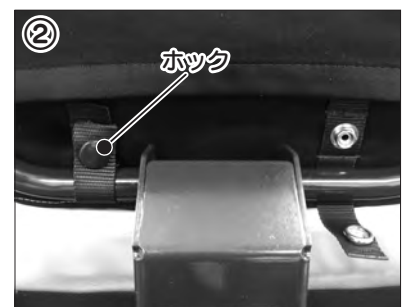


2-2) ヘッドサポートのマットを装着する。

マットのポケットをフレームに通し、ホックにて固定する。

※バックサポートを折りたたむ際はマットを取り外す事をお勧め致します。

マットを装着した状態でたたもうとしますと、シワの発生につながる恐れがあります。また、外した固定シャフトは、紛失しないように保管してください。



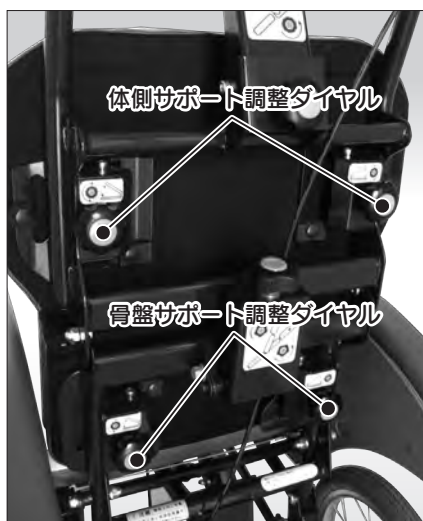
3) タイヤの空気圧確認

組立時にタイヤの空気が抜けていた場合、空気を入れてからご使用ください。 ※適正空気圧 300kPa (3.0 kg f/cm²)

(3) 体側サポート、骨盤サポート角度の調整方法

背面のダイヤルを回す事で任意の角度に調整できます。

- 時計回り：サポートが開いていきます。
- 反時計回り：サポートが閉じていきます。



⚠ 注意

- 体側サポートや骨盤サポートと車いすの間に、手や指が挟まっていない事を十分確認してから操作してください。
- 過度なダイヤル操作を行いますと、故障の原因につながりますのでご注意ください。

(4) ティルト・リクライニング角度の調整方法

リクライニングレバーをにぎるとバックサポートの固定が解除され、任意の角度に調整できます。リクライニングレバーを離した角度で固定されます。



※写真はPRW-01



⚠ 注意

- リクライニング操作中は、ご使用者から目を離さないでください。
- リクライニング操作は、必ず駐車ブレーキを掛けてから行ってください。
- リクライニング操作を行う時は、使用者の手や足がアームサポートより外に出ていない事を確認してから行ってください。
- サイドスカートと車いすの間に、手や指が挟まっていない事を十分確認してから操作してください。

(5) 背折れ角度の調整方法

背面のダイヤルを回す事で任意の背折れ角度に調整できます。

- 時計回り：バックサポート中央で起きていきます。
- 反時計回り：バックサポート中央で寝ていきます。



※写真はPRW-01

動作イメージ

⚠ 注意

- 過度なダイヤル操作を行いますと、故障の原因につながりますのでご注意ください。

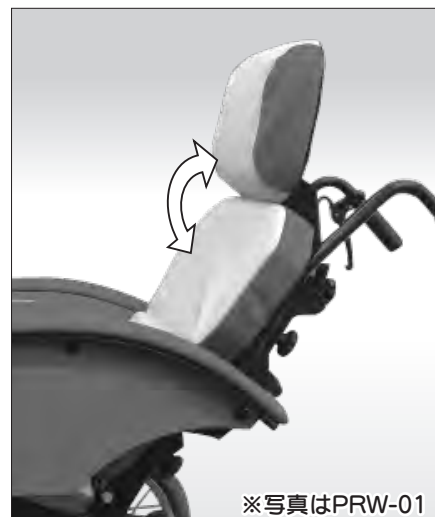
(6) ヘッドサポート角度の調整方法

背面のダイヤルを回す事で任意の角度に調整できます。

- 時計回り：ヘッドサポートが起きていきます。
- 反時計回り：ヘッドサポートが寝ていきます。



※写真はPRW-01



※写真はPRW-01

動作イメージ

⚠ 注意

- 過度なダイヤル操作を行いますと、故障の原因につながりますのでご注意ください。

(7) アームサポートの上げ、下げの方法

①アームサポートの中央付近を持ってください。



②アームサポートの支柱根元に設けられたストッパーのつまみを引き、ゆっくりと高さを調節してください。

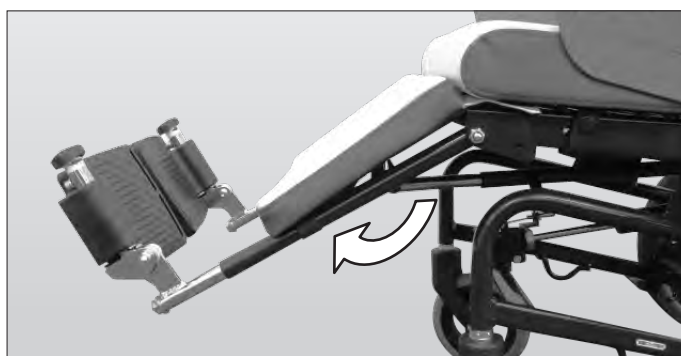


⚠ 注意

- アームサポートの高さを調節した際は、確実にロックされた事を必ず確認してください。
- アームサポートの上げ下げは、ご使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていない事を確認してから操作してください。また、介助者はストッパーのつまみをしっかり握り、指を挟まれないよう十分に注意し、ゆっくりと操作してください。
- サイドスカートと車いすの間に手や指が挟まっていない事を十分確認してから操作してください。
- 移乗する時は、必ずアームサポートを下げてください。アームサポートに無理な体重や荷重がかかり、フレームが変形・破損したり、アームサポートの上げ下げが固くなる恐れがあります。

(8) レッグサポートの角度調整の方法

手動で3段階の角度調整が可能です。



シート座面下のつまみを手前斜め下方に引きながらレッグサポートを持ち上げ（又は下げ）、任意の角度で確実にロックがかかった事を確認してからご使用ください。

⚠ 注意

- レッグサポートに体重をかけないでください。また、上に乗らないでください。本体が転倒しケガをしたり、または製品が破損する恐れがあります。

(9) フットサポートの取扱い方法

ダイヤルを回す事で任意の角度に調整できます。

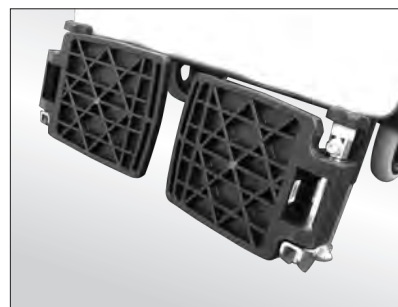
- 時計回り：フットサポートが下がります。
- 反時計回り：フットサポートが上がります。



⚠ 注意

- フットサポートの操作時はご利用者の足や指が挟まっていない事を十分確認してから操作してください。フットサポートの上には乗らないでください。本体が転倒しケガをしたり、または製品が破損する恐れがあります。

フットサポートは手動で簡単にはね上げられます。2通りの跳ね上げが可能です。



(10) フットサポート高さの調整方法

図示の位置にあるボルトを付属工具によりゆるめ、フットサポートを上下させ、ご使用者の足の位置に合わせます。調整が終わりましたら、フットサポートが動かないようにボルトを確実に締め付けます。



⚠ 注意

- フットサポートの最低地上高さは5センチ以上を確保してください。走行中に段差に接触し、転倒するなどケガにつながる恐れがあります。

(11) 駐車ブレーキの掛け方、解除の方法

停車時は必ず駐車ブレーキを掛けてください。

駐車ブレーキペダルを踏むと駐車ブレーキが掛かり、上へ戻すと解除されます。

駐車ブレーキの操作は、駐車ブレーキペダルが止まる位置まで確実に踏み込んでください。



(12) 介助ブレーキの使用方法 (※PRW-01-D)

ブレーキレバーを握るとブレーキがかかり、離すと解除します。左右のレバーは同時に均等な力で操作してください。

- ゆるい下り坂や、スロープを下がる時など介助者が車いすを減速する時にご使用ください。
- 通常の車いすよりも重量がありますので、介助ブレーキを使用する際も後ろ向きにゆっくり下りてください。



※写真はPRW-01-D

⚠ 注意

- 急ブレーキをかけないでください。(車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。)

5. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタツキがあった時には、ご使用を取りやめ、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

①後輪タイヤの空気圧の確認

駐車ブレーキの性能を維持するため、空気圧の確認を行ってください。

適正空気圧 300kPa (3.0kgf/cm²)

②駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキペダルを操作し、駐車ブレーキが掛かる事を確認してください。

⚠ 注意

- 後輪タイヤの空気圧が少ないとブレーキが掛からない場合や、ブレーキの掛かりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。

③介助ブレーキの作動確認 (※PRW-01-D)

介助ブレーキを操作し、ブレーキが掛かる事を確認してください。

④バックサポートが固定されている事の確認

- 1) バックサポート固定用シャフトのゆるみなどをチェックし、背もたれが確実に固定されている事を確認してください。
- 2) リクライニングレバーを握りバックサポートを倒した後、レバーを放したとき、バックサポートが固定されている事を確認してください。

⑤消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店又は、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

⚠ 注意

- 交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。それぞれの部品が交換時期になった時は、お早めに交換してください。

⑥ねじの緩みを確認

ねじが緩んでいたら締めてください。ねじが脱落し、事故につながる恐れがあります。

消耗品・交換部品

品 名	交 換 時 期
後 輪 タ イ ヤ	タイヤ表面に溝がなくなった時。表面がひび割れた時。
前 輪 キ ャ ス タ ー	しっかり取り付けていてもガタガタする時。表面がひび割れた時。
ワ イ ヤ ー	ほつれなど、外観に異常が認められた時。
ヘッドサポートマット	ほつれ、切れ目が発生した時。ひどく汚れた時。
バックサポートマット	
座 面 シ ー ト マ ッ ト	
レッグサポートマット	
ド ラ ム ブ レ ー キ	介助ブレーキを操作した際、ブレーキ制動力が不十分な時。

6. お手入れの方法

①本体フレームのお手入れ

- 1) フレーム汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 2) 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

⚠ 注意

- 車いす本体を水洗いされますと、動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたす恐れがありますので、おやめください。
- 熱湯やオゾンで洗淨しないでください。製品を傷める恐れがあります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

- 3) 車軸などの動作部に潤滑油を塗布してください。

⚠ 注意

- 後輪タイヤ表面に潤滑油が付着しないように注意してください。
駐車ブレーキが効かなくなる恐れがあります。



②介助ブレーキの作動確認（※PRW-01-D）

後車輪の車輪軸にあるドラムブレーキ部分には油がつかないようにご注意ください。介助ブレーキの効きが悪くなる原因となります。

③樹脂部のお手入れ

- 1) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
- 2) 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

⚠ 注意

- 樹脂部を消毒用アルコール、有機溶剤、塩素系洗剤などで拭きますと変色、劣化の恐れがありますので、おやめください。

④各種マットのお手入れ

- 1) ヘッドサポートマット、バックサポートマット、座面シートマット、
レッグサポートマットは洗濯をしないでください。
- 2) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。



⑤アームサポートのお手入れ

- 1) アームサポートの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
注意 研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなど、洗淨時にキズが生じる恐れのあるものは使用しないでください。
- 2) アームサポートのパイプの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませ拭き取ってください。
拭き取った後は、乾いた布で水分を取り除いてください。
注意 汚れがひどくなりますと、アームサポートが上下に動かなくなる恐れがあります。

⚠ 注意

- シンナー、ベンジンなどの溶剤は、使用しないでください。塗装がはがれるなど、製品を傷める恐れがあります。

7. 保管方法

- ①製品の劣化をさけるため直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
- ②錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が著しく高い場所（50℃以上）には保管しないでください。

8. 仕 様

項 目		仕 様
型 式 ・ シ ー ト		ビニールレザーシート
材 質	フレーム/表面処理	スチール/粉体塗装
	シ ー ト (表 地)	ビニールレザー
	シ ー ト (中 材)	ウレタンフォーム
寸 法	全 長	1117mm
	全 幅	527mm
	全 高	1205mm
	座 面 幅	400mm
	座 面 奥 行	400mm
	前 座 高	470mm
	後 座 高	410mm
	アームサポート高	180mm、230mm（座面後部からの高さ）
	手押しハンドルの高さ	970mm
	チルトクライニング範囲	10°～50°
	後 輪 × 前 輪	14インチ×6インチ
最 大 許 容 体 重		75kgまで
重 量		PRW-01：30.5kg／PRW-01-D：31.8kg

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

9. アフターサービス

この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ㈱、ピジョン㈱お客様相談室までお問い合わせください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、製造番号（ロットNo.）、および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼する事ができない場合は、ピジョンタヒラ㈱またはピジョン㈱お客様相談室までお問い合わせください。

製品の保証について

- 1) 保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
- 2) 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。



保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室、までお問い合わせください。

保証規定

- 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保障期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理致します。ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室またはお問い合わせください。
ただし、ワイヤー、キャスター・車輪の摩耗、シートの破れなど、交換時期となった消耗品・消耗部品は保証対象に含まれません。
 - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 有料修理の場合に要する発送運賃、消耗品の代金。
 - 縫製部品の傷や破れ。また洗濯による退色や収縮。
 - 本書は日本国内にのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしかねます。
 - 製造中止後の製品については必要部品がなくなった場合、修理できない事もあります。
- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
 - 万が一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室にお問い合わせください。

製 品 名		ロットNo.	保 証 期 間
ハビナース ティルトリクライニング車いす コンフォートアシスタ PRW-01, PRW-01-D			お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お 客 様	お名前	お買い上げ日 年 月	
	ご住所 〒	TEL	
販 売 店	店名	TEL	
	住所 ※1		

※1 お買い上げ時のレシート添付でも有効。

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
(お客様相談室) TEL 03(5645)1235
受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)
ピジョンホームページは
<http://pigeon.info/>

ピジョンタヒラ株式会社

〒165-0021 東京都中野区丸山2-5-19
TEL 03(5373)6711(代表)
受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)
ピジョンタヒラホームページは
<http://www.tahira.co.jp>